

平成十八年 1月号



岐阜県本部だより

japanese government approved non-profit-organization(npo) japan karate syotorenmei HP : <http://www.fsinet.or.jp/~jks-gifu/>

発行：NPO法人日本空手松涛連盟岐阜県本部

岐阜県岐阜市森東9番地 tel(058)-229-6066

発行責任者：岐阜県本部広報部

岐阜県瑞穂市別府 1214 tel/fax(058)326-5512



大晦日から元旦というのは、世代を超えて日本の伝統文化を一番身近に感じられる瞬間だと気付く。聞くとともに聞こえてくる除夜の鐘に、心静かに年を越す。床の間に目をやれば鏡餅が鎮座し、台所には「たつくり」の芳ばしい香りが立ち込める。近所を歩けば、肩車をしてしめ飾りを付ける風景。神社に赴けば、次代を担う若者達も、慣例に従い歯切れのよい拍手を響かせ、老いも若きも皆、こうべを垂れる。様々な西洋文化を受け入れ、それに流され過ぎではないかと風刺される現代の日本。しかしその根底にある我々の日本文化は時代の流れに流される事無く、万人の心の奥深くにしっかりと息づいている。

毎年、年頭に際し皆様に贈られる田中本部長からの一句。ピンと伸びた松の葉を、朝日が優しく包み込む。朝日にとどけとばかりに、ぐんぐん伸びようとする若松に自分を重ねてみる。躍動感のあるこの句を何度も何度も読み返しているうちに、居ても立ってもいられなくなり、道衣に着替えたくなる衝動に駆られるのであった。

11月10日午後6時、モスクワ・シェレメチエボ第2国際空港に、園原監督他5名の日本の少年選手団を迎えに行った。シェレメチエボ第2国際空港はアジアとヨーロッパを結ぶロシアの幹線空港であって、初めにロシアに入国してきたのは橋本健太君だった。続いて全員の顔を見る事が出来ひとまず安心した。



空港にはJKSモスクワの役員達が大勢迎えに来ており、選手たちも興奮気味だった。私は既に5日からプリアンスクに来ていて、前日の夜行列車に乗り10日にモスクワに着き、皆を迎えに来たところだった。日本の少年選手達にとって初めての外国旅行であり、しかも10時間の飛行時間にもかかわらず、大変元気そうだった。ホテル・コスモスにチェックインした後、近くのロシアレストランに行った。ロシア名物の前菜とボルシチに始まり、日本の水餃子に似たペルメニを少年達は美味しそうに食べていた。

翌11日、午前9時より選手達は赤の広場など半日のモスクワ観光に出かけた。午後5時、モスクワ市南部にあるドモジドボ国際空港で選手達と合流して、ウクライナ第2の都市ドネツクに向かった。ドネツク国際空港には20人程のJKSウクライナの役員達が迎えに来ていた。ホテルにチェックインしてから、歓迎パーティーに全員出席した。

12日、選手達には時差関係なく、朝から大会予選が始まり、言葉の違い文化の違いで皆緊張していた様に初めは見えたが、午後になると何となく少年達は目の色肌の色は関係無く、それぞれに写真を写しあったりして、アイコンタクトとボディランゲージで意思を通じ合っているようであった。

13日大会を終え、14日10時より13時、16時より19時まで講習会、15日10時より13時まで講習会、15時より19時まで審査会。少年達はまだウクライナにきて何もウクライナ観光はしていなかった。そこで、園原監督と相談して2時間だけミニ観光を少年達に許可した。案内役はウクライナJKS会員の15歳の少女3人である。スポンサーとしてはJKSウクライナ事務局長のドミトリー氏に御願いした。ウクライナ女性の15歳は本当に綺麗である。東ヨーロッパ白人の14・15・16・17歳は輝く美しさがある。勿論、男も背はすらりとして美しい、男が美しいから女も綺麗である。

審査を終えて、ミニ観光から帰ってきた少年達と案内してくれた女性達と一緒に夕食になった。そして、それぞれに感想を述べさせた。少年達は全員同じ事を言った。「もっと勉強しておけば良かった。」たった2時間の交流、しかも通訳は付き添わなかった。限られた、たった2時間。お互いに美人達と少年達は知ってる限りの英語とアイコンタクトとボディランゲージでお互いの意思を伝わすしかなかったのである。彼達にとってこの2時間は今までで一番短かった2時間ではなかったのではないかなと思う。

私は選手達と16日にドモジドボ国際空港で別れ、地方を指導して26日に帰国した。選手達は17日に帰国した。

11月27日、日曜日、土岐市で濃飛大会が開催され、その折、5名の選手たちとその親さん達に会った。親さん達はこれまた全員同じ事を言った。「何故だか分かりませんが、物凄く勉強する様になりました。ありがとうございました。」との事でした。

ウクライナ大会に出場した選手・監督

鳥澤幸太郎(小6) 中村健太(中1) 早川航紀(中2) 糸魚川幸軌(中2) 橋本健太(中2)
園原完一監督

～ホームステイ先、募集のお知らせ～

4月29日(祝)に行われる、日本空手松涛連盟岐阜県大会/日露親善大会に際し、来日するロシア選手のホームステイ先を募集いたします。およそ1週間程度の滞在となると思われます。空手を通じた国際交流の場として、ご家族でご相談ください。申し込み要項および詳細は2月号にてお伝えいたします。お楽しみに。

